

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が身に付いている。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力が身に付いている。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。
- 話し言葉と書き言葉との違いを使い分けるところに課題がある。

【算数】

- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係性について理解している。
 - 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る力が身に付いている。
 - 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する力に課題がある。
 - 二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、不足や重なりがないように分類整理する力に課題がある。
-

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある児童が多い。
 - 算数の勉強を好きと答えた児童が多い。
 - 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりの勉強時間が少ない。
 - ICT機器を学習のために使っている時間が少ない。
-

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の少人数指導や個に応じた補充学習の実施
- ・国語科、算数科の前学年までの基礎・基本の習得を図るための学習の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・モジュールタイムにおける音読やフラッシュカード等の基礎基本の習熟
- ・問題文、資料(統計資料、図)を正確に読み取り、解釈して問題解決、相手に説明する活動の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・子どもたちが安心して過ごせる学級集団づくり
- ・学校・地域の特性を生かした授業・行事づくり

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・子ども自身に自分の課題を意識した学習内容、学習方法を意識させる支援体制
- ・家庭・地域・学校の更なる連携